

事業概要シート

施策： ごみの減量化と適正処理の推進

《 》は、29年度の当初予算

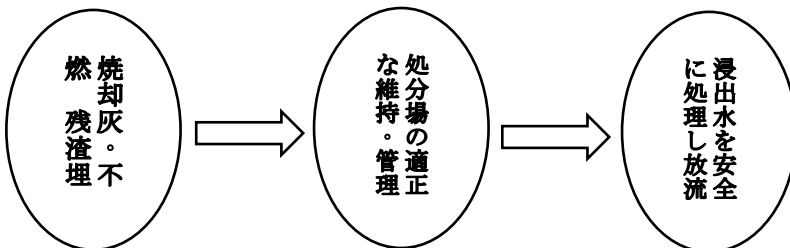
事業名： 最終処分場維持管理事業	拡充	予算額	54,921 千円
			《 43,356 》
財源内訳	国庫支出金		千円
	県支出金		千円
	地方債	16,100	千円
	その他		千円
	一般財源	38,821	千円

【事業の目的・概要・対象】

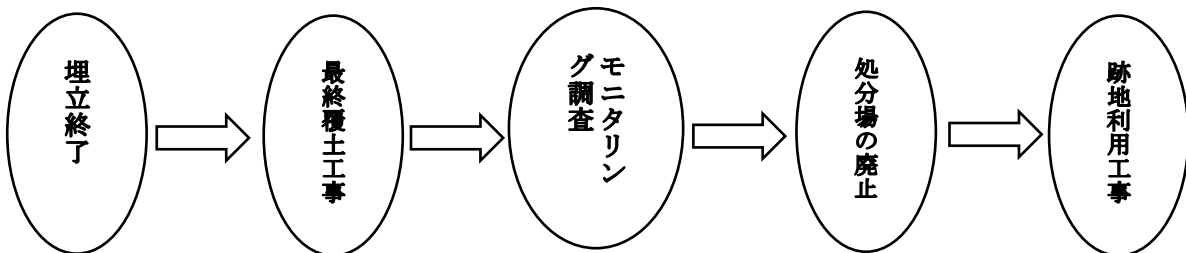
新旧最終処分場の埋立地及び浸出水処理施設の正常な機能を維持する。
旧処分場については、跡地の利用方針を決定し、工事に着手する。

新旧最終処分場の計画的な補修工事及び定期的な点検・整備・水質測定分析等を行う。
旧処分場については、埋立終了後にモニタリング調査を行い、環境基準に適合すれば埋立施設の廃止後、跡地を利用した工事を実施する。

新一般廃棄物最終処分



旧一般廃棄物最終処分



【背景】

現有の最終処分場を、平成29年度中に埋立完了、平成31年度に閉鎖する計画であるが、閉鎖のために必要な工程を実施する。①良質土による覆土を行う。②2年間のモニタリング調査を行う。③水処理施設の撤去を行う。

現有処分場の埋立完了後は2年間の水質等のモニタリングが必要だが、最終閉鎖までは現有処分場と新設処分場の両方の運転管理を行う。

担当課	市民環境部 環境センター	問合せ先	0957-54-3100
-----	--------------	------	--------------

事業概要シート

【活動指標】

指標名		単位	H28 (実績)	H29 (目標)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)
①	ダイオキシン類の測定	計画値	3	6	6	6	3
		実績値	3				
	検体数（放流水・地下水×2）	達成度	%	100			
②							

【成果指標】

指標名		単位	H28 (実績)	H29 (目標)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)	
①	ダイオキシン類の基準値達成検体数	計画値	3	6	6	6	3	
		実績値	3					
	検体数（放流水・地下水×2）	達成度	%	100				
②	埋立される最終処分量	計画値	t	3,174	3,118	3,061	3,036	3,043
		実績値		3,457				
	埋立する焼却灰＋不燃物残渣	達成度	%	108.9				

【予算・決算】

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	合計
事業費	20,665	44,640	16,374	43,356	54,921	38,821	218,777
国庫支出金							0
県支出金							0
地方債		5,200			16,100		21,300
その他							0
一般財源	20,665	39,440	16,374	43,356	38,821	38,821	197,477
人件費	3,023	2,821	2,909	6,743	6,743	6,743	28,982
職員	0.40人	0.40人	0.40人	0.80人	0.80人	0.80人	3.60人
時間外勤務							0h
嘱託員				0.50人	0.50人	0.50人	1.50人
フルコスト	23,688	47,461	19,283	50,099	61,664	45,564	247,759

妥当性 (市の関与)	一般廃棄物の処理責任は市にあるため、事業は妥当である。
有効性 (施策貢献度)	焼却灰、残渣を埋め立て、浸出水を適正に処理し、市民生活が安心、安全にできるようにするものである。
効率性 (コスト)	計画的な補修工事及び定期的な点検・整備・水質測定分析等を行い、施設を維持管理するために必要な費用である。

1次評価	担当者意見のとおり
2次評価	1次評価意見のとおり